

第二號  
宮内ノ定額金







佛蘭西

佛蘭西ニ於テ最初二代ノ間ハ尚オ巨多ノ私有地ヲ所有シタリト雖モ  
 既ニ「ウロワ」家ノ代ニ至テハ國王位ニ登リシキハ其私有ノ財産ハ讓與賣  
 却スベカラサル公同ノ國領ノ一部分ト為スナリトノ原則ヲ奉行シ此原則  
 ハ爾來異論ナク行ハレタリ○然ルニ他ノ一方ニ在テハ國王ハ無ク、薩カト  
 國會(國議院ノ類)ノ管理トヲ掌握スルヲ以テ此原則ハ速カニ消滅シ而  
 シテ「ホルボン」家ノ代私用ノ為メニ公同ノ收入ヲ使用シタルノ多キ「ハ世」ノ熟  
 知スル所ナリ○然ルニ其反動起リテ千七百九十年十一月二十二日ニ於テ  
 國議院ハ都テノ王領并王ノ私有物ヨリ増加シタル所ノモノハ悉ク國民  
 ノ所有物タルベシト明言シタリ○千七百九十年六月九日及ヒ千七百九十一年  
 五月二十一日ニ於テ國王ハ捧クベキ「ヴルリス」トヲ確定シ王ノ國政ヲ執リシ  
 間ハ之ヲ保存スルコト為シタリ○其後引續キテ此取扱方ヲ始メ其他諸  
 來ノ取極メヲ以テ交付シ來リタル金額即チ二千五百万フランヲ併セシ

大正十一年四月  
大隈侯爵邸藏



ヲ前後ノ佛王ニ施行セリ○獨リルイ、ヒリツプ王ノ三右ヨリ減少シタル金額即チ千二百万フランクヲ受取りタリ○「ナポレオン」第一世ハ又特別ナル經費金ヲ所有シタル上其征服シタル國々ヨリ收ムル所ノ貢租ヲ收納シ因テ以テ大ニ其收入ヲ増殖スルノ方法ヲ得タリト云フハ虚説ニ非ザルナリ○「ナポレオン」第三世ハ千八百五十二年十二月十二日并千八百五十二年十二月十四日及ヒ千八百五十三年一月十九日ノ元老院ノ決議ニ依テ二千五百万フランクノ「レヴブル」リストヲ有シ其外ニモ皇族ノ「粧金」此粧金ノ事ハ之ヲ下ニ説クベシ「パレイス、ローヤル」及ヒ「ロンドン」ト唱ヘタル宮室ノ修繕費トシテ三十五万フランクト宮内ノ動産不動産ヨリ生スル所ノ收入トヲ所有シタリ此動産不動産ノ收入ハ此帝國滅亡ノ後ニテ得タル所ノ書類ニ依テ之ヲ計算スレバ其金額ハ年々三百万乃至四百万フランクナレト當時猶オ辛フシテ宮内ノ費用ニ充テタリト云爾

日耳曼

日耳曼ニ於テハ近代ニ至ル迄公同ノ費用ハ主トシテ地頭ノ「バアトリ」モニ父祖傳來

ノ財産トニ屬スル土地ヨリノ收入ヲ以テ之レニ充テタリ○若シ此等費用ノ欠乏云フ義ニ屬スル土地ヨリノ收入ヲ以テ之レニ充テタリ○若シ此等費用ノ欠乏シタルハ公債ヲ募リ若シクハ一國ヲシテ之レガ充備ヲ為サシムルヲ要セリ○普魯西亞ニ於テ是等事務ノ稍規則立チタルモノハ國王身親カラ一定ノ收入ヲ定メ之ヲ王領ノ收入中ヨリ納メシムルヲ決定シタルヲ以テ其始トス○然ルニ「インド」ト「律書」ノ名第二章第十三條并第十四條ヲ以テ國君ノ「近代」ノ家政上ニ緊要ナル左ノ原則ヲ制定セリ曰ク國家ノ長タル者ハ其擔任ノ職掌ヲ尽シ且ツ之レニ屬スル入用ヲ充タス為メニ必然ルベキ收入ト要用ナル權理トヲ附與スルナリト○千八百二十年第一月十七日ノ布令ニ依テ年々二百五十万フランク「カール」ハ大凡我七十錢ニ當ルノ收額ヲ永代王家ノ收入ト取極メ而シテ領地并山林ヨリスル收入ヲ以テ之レニ充ツルコト定メタリ○此取極メ方ハ國憲ノ「准許狀」ニ於テ公然之レヲ認許シ而シテ第五十九條ヲ以テ之ヲ確定シタリ其五十九條ニ曰ク王家ノ「フンゲ」ニ「讓與賣却」スベカラザル一家ノ所有物ト云フ義ハ千八百二十年一月十七日ノ法律ヲ以テ取極メタル領地并山林ヨ

王領地  
下同



リスル収入ヲ以テ之レニ充ツル所ノ收額ヲ含ムベシト

經費豫算ニ於テハ第一番ニ領地并山林ヨリスル収入中ヨリ此二百五十万  
一レレノ收額ヲ引去リテ此廉ハ之ヲ經費豫算中ニ記載セス獨リ領地并  
山林ヨリスル収入ノ残額ノミ之レニ記載スルナリ(前段ノ收額ヲ引去リ更ニ之  
ヲ經費豫算ノ収入ノ部ヘ肩書スルナリ)○王家ノ糶金(普魯西亞ニ於テハ  
ルリストナル語ハ官府ノ言葉ニハ用ヰガルナリ)ノ増加ニ関セル千八百五十九年  
四月三十日ノ法律ヲ以テ前ニ記載セル二百五十万タール并其金ニ於ケル差金  
金貨ト紙幣トト共ニ併セテ二百五十七万三千九十八タール三分ノ二ト成ル所ノ  
收額ノ外更ニ國ノ他ノ收入中ヨリ毎年五十万タールノ收額ヲ納ムベキト  
并此收入モ亦可成丈々速ニ領地并山林ヨリスル収入ヲ以テ之ヲ取極ムベキト  
ヲ定メタリ○尚オ右ノ外ニ又王家ノ糶金ノ増加ニ関セル千八百六十八年一月  
二十七日ノ法律ヲ以テ千八百六十八年一月一日ヨリ始メテ國家ノ會計ノ中ヨ  
リ百万タールノ收額ヲ納ムベキト諸宮殿(法律ト結合セタルリスト)ニ記

載シタル分ハ遺囑園公園ヲ併セテ悉皆之ヲ王ノミノ所用ニ供シ之ヲ保持

スルハ國王ノ擔任タルマシトヲ定メタリ○前ニ記載シタル條款ノ法律上ニ於ケ  
ル關係ハ左ノ如シ即チ王家ノ収入ハ憲法并國法ニ基キタル會計ノ部ノ擔任  
ニシテ此金額ハ經費豫算ノ法律ニ属スルモノニ在ラス何トナレバ民撰議院  
(憲法并法律上ニ於テ)此拂金ヲ其經費豫算ノ中ヘ加入セザルニシテ  
ルヲ以テノ故ナリ(右ノ訳ナルヲ以テ該議院ハ自餘諸國ノ拂金ヲ其議院ノ承  
諾ヲ得タルキノミ獨リ法則通りノ権理アルモノ、如ク此拂金ヲ拒ミ又ハ辨論ス  
ルノ権力ヲ有セザルナリ)○右ノ金額ノ總計ハ四百七萬三千九十九タール(即  
六十一万五千九百六十四磅)ナリ○此外ニ猶オ王家ハ著大ナル私有物、山林  
及ヒ國中所々ニ在ル大ナル田野所謂「フデコムニス」或ハ「ヤツルグド」ナルモノヲ有  
セリ○此私有財産ヨリスル所ノ収入ハ主トシテ宮内ノ費用又ハ王族諸人ノ俸給  
ニ充ツルナリ○勿論此収入ヲ王ヘ配賦シタル所ハ稍シガハリストノ性質ヲ具備  
セリト雖モ尚オ一般ノシガハリストト異ナル所ノモノアリ畢竟此収入ハ國王ノ



代換アルキト雖氏決シテ公論<sup>蓋し國議</sup>兼諾ヲ待ツニ及バザルヲ以テナリ

方今ニ至テハ一國ノ費用ト王家ノ費用(即チシヴルリス)トハ日月曼諾國ノ過半ハ之レガ區別ヲ設ケタリ而メ此レニ在ラザレバ則チ是レニ在ルヲ左ノ如シ

イ シヴルリストハ王家ノ領地ヲ其國へ付與シタル所ノエージューフラクト

土地家屋其他ヲ他人へ貸與シ其代物(即チ雇作料)ト同一ノ物ト思考セラル、モノ家賃其他ノ便益等ヲ享有スルノ權理

例ハバ索遜ニ於ケルガ如シ按ヌルニ是約條ハ國家ノ相對ノ條約ナルヲ以テ双方ノ都合ニ依リ之ヲ解クコトヲ得ルモノトレベシ

ロ シヴルリストハ宮内ガ一人王家ノ領地ニ就テ取極メタルガ故ニ其王ノ地位タルヤ猶オ一國ノ所有物ノ一定現在シタル部分ヲ恰モ書入質ニシ

タルガ如クナリトス一國ノ所有物ヲシヴルリストノ抵當ト為シタル邊ニテ其收入ノ違拂ヲナス前ニ必ス先ツシヴルリストノ約ハキヲモテ

例ハバ普魯亞プロウエリヤノ如キ是レナリ

ハ 右ノ外諸國ニ於テ一定ノ金額アリテ王ノ家計ノ為メニ其領地ヨリスル收入中ヨリ之ヲ引分クレバ此領地ハ王家ノ家族ノ所有物ト思考セラル、モノ(ハテンヘセン)プロオンスワイク諸國ノ如キ是レナリ

ニ 或ル國ニ於テハ王宮ノ需用ハ御物ト名ケタル領地ノ若干部分

ヲ以テ之レニ充テルナリクラシシト○此御物ナルモノハ其王身親カラ之ヲ支配

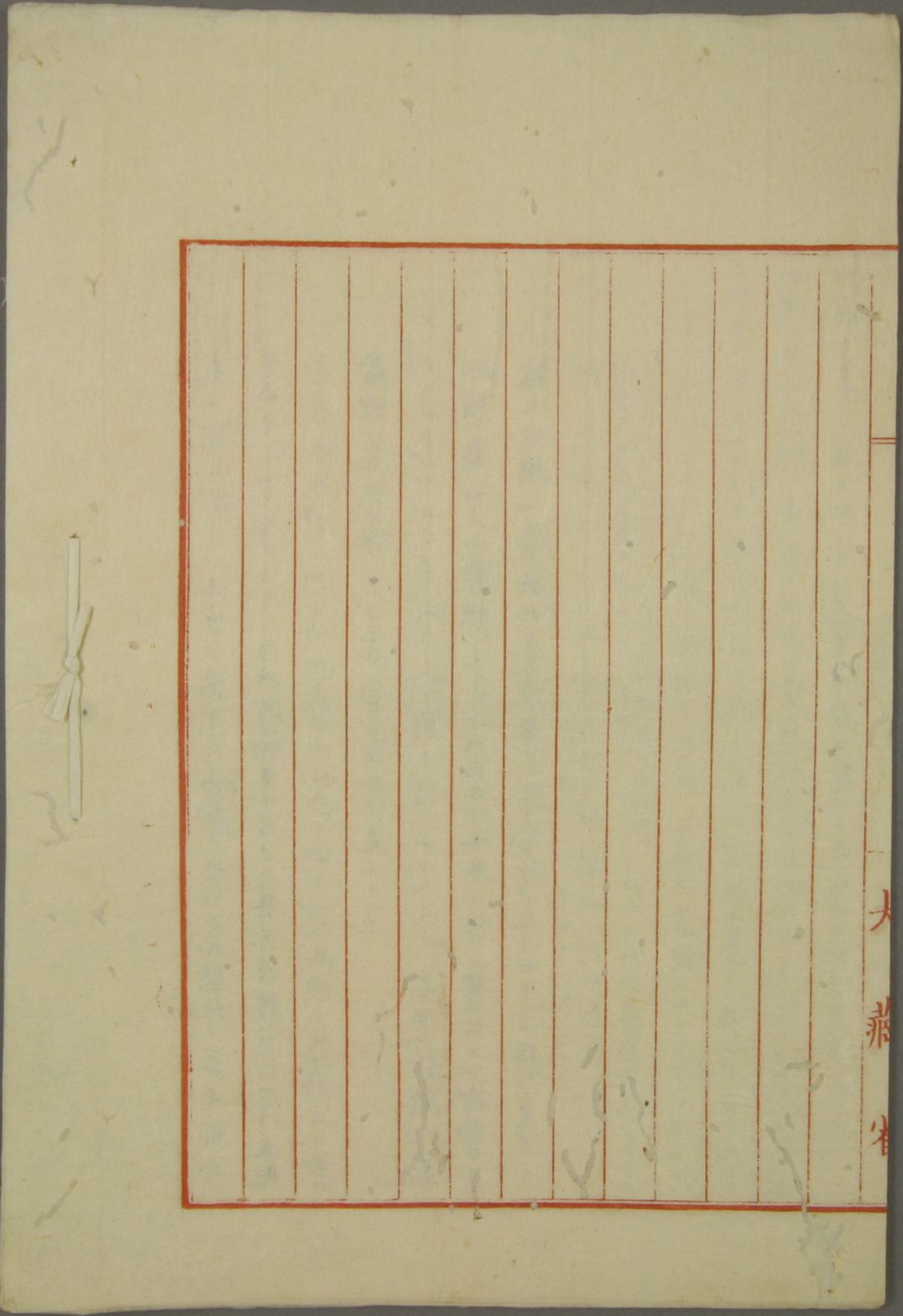
スルモノアリ(オルテンブルク、ワイマル)ノ如キ又其國ノ大藏省ニ於テ

管理スルモノアリ(カールヘセン)ノ如キ是レナリ

エ メクレンバブルグスヘリンニ於テ行ハレタルモノハ右等諸種

酌折衷シタル種類ニシテ千八百四十九年ニ於テ著大ナル御物ヲ王家へ付與シ且ツ此外ニ又現金ヲ以テシヴルリストヲ捧ケタリ





大  
清  
省